

**特定非営利活動法人サロン 2002**

**2021 年度 活動報告書**



# はじめに

新型コロナウイルスとの対峙は2年半に及びます。何もわからず「ただ恐れるだけ」だった初期段階から、科学的知見を活かして「正しく恐れる」段階を経て、いまようやく先が見えてきたところです。目指すべきは「かつての日常」でなく、「新しい日常」でしょう。コロナ禍で得た新たな知見を活かしながら、“働き方”“学び方”“遊び方”を含む“生き方”そのもののリニューアルに挑戦する段階にあります。スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”に掲げるサロン2002も、持続可能なNPOのすがたを模索しています。

前身の研究会を引き継ぎ「サロン2002」の名称で1997年度からはほぼ毎月行ってきた月例会は、10月で通算300回となりました。今年度から「月例サロン」に名称を変更し、一般公開型の「公開サロン」と、サロン2002ファミリー限定の「限定サロン」に整理し直しました。月例サロンは、NPOサロン2002の中核事業です。

年2回の公開シンポジウムは、月例サロンの延長上に位置付けられます。今年度の月例サロンのメインテーマである「スポーツと安全」を11月に、12月には「2021年の総括と展望」と題してJFA100周年、TOKYO2020、WEリーグなどを取り上げました。いずれもオンライン開催となりましたが、遠方から参加できるメリットは、Afterコロナの「新しい日常」につながるものです。12月末に主管した高校生対象のオリンピック教育事業もオンライン開催でした。TOKYO2020のレガシーの一つとして、今後オリンピック教育には力を注いでまいります。

万全の感染予防対策を講じて1月に開催したのが第6回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ(FLCC)です。全国各地でU-18フットサルに取り組む方々が目標とするこの大会は、長野県千曲市にとっても欠かせない年中行事になりつつあります。地域の皆さまとともに育ててまいります。

このほか一般社団法人A-GOALなど、“志”を同じくする団体と連携を図りながら事業を進めることができました。3月には広報誌『遊ASOBI』第5号を発刊できました。U-18FLCCと広報誌は、totoの助成事業です。コロナ禍にあっても、できることをさぐり、続けてこられたのは大きな成果です。

持続可能なNPOのすがたを議論する場を、年8回の理事会以外に何度も設けたことも、2021年度の成果です。2021年1～3月の「情報発信プロジェクト」と限定サロンでの議論は、6月の通常総会でホームページリニューアルの議決につながりました。リニューアル後の12月以降は「情報活用プロジェクト」と限定サロンで議論を深めました。従来の情報発信では届きにくかった層に対して、サロン2002からのメッセージをどのように伝えるかが大きなテーマです。財務基盤の強化、業務の効率化と担い手の発掘・育成も、NPOサロン2002にとって重要な課題です。

コロナ禍の2年半は、自分たちのあり方や方向性を考えるよい機会となりました。「スポーツを通しての“ゆたかなくらし”」のあり方についても、「新しい日常」に沿って考え、行動していく必要があるでしょう。足元をしっかりと見据えたうえで、グローバルな視点で“志”の実現に取り組みます。

今後ともどうぞよろしくご厚意申し上げます。

2022(令和4)年6月  
特定非営利活動法人サロン2002  
理事長 中塚義実

# 目 次

はじめに.....	1
特定非営利活動法人サロン2002理事長 中塚義実	
目 次.....	2
【調査研究・情報提供・普及啓蒙事業】	
1. 月例サロン.....	3
2. 公開シンポジウム.....	15
【イベント開催事業】	
3. 第6回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ .....	17
4. 高校生対象のオリンピック教育プログラム.....	20
【国際交流事業】	
5. A-Goal プロジェクトとの連携.....	25
【人的ネットワーク管理運営事業】	
6. 事務局報告.....	27

# 1. 月例サロン

## 《2021年4月 限定サロン（通算294回）》

【日時】2021年4月16日（金）19:00～21:10（終了後はオンライン懇親会 ～23:30）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】サロン2002の「これから」を考える②ー理事長からの問題提起

【演者】中塚義実（NPO法人サロン理事長／筑波大学附属高校）

【指定発言者】注）サロンへの「思い」や「願い」を述べていただく方々

- ・仲澤眞（筑波大学）…「社心グループ」時代を知る理事長の研究室同期。Jリーグ観客調査を継続中
- ・梅澤佳子（多摩大学）…仲澤氏とともに理事長の研究室同窓生。ご子息もサロンファミリー
- ・井上俊也（大妻女子大学）…「社心グループ」時代からの同志。サロンから一時離れるが復帰
- ・山下則之（元Jリーグアカデミー・リーダー）…情報発信PTの議論を経て2021年度からNPO会員に
- ・柳井隆志（筑波大附高&筑波大蹴球部OB）…理事長の教え子で2020年度よりNPO会員に
- ・小島裕範（経営コンサルタント）…筑波学園バルバロスOB。2000年前後「サロン2002inにいがた」主宰

【参加者17名】注）★はNPO会員

浅見明子、★仲澤眞（筑波大学）、★梅澤佳子（多摩大学）、★金子正彦（会社員）、北原由（高校教師）、熊谷建志（FC城東代表）、★小池靖（会社員）、★小島裕範（経営コンサルタント）、★嶋崎雅規（国際武道大学）、★田中俊也（三日月市整形外科）、★茅野英一、徳田仁（株セリエ）、★中塚義実（筑波大学附属高校）、★本多克己（株シックス）、本郷由希（会社員）、★柳井隆志（筑波大附高&筑波大学蹴球部OB）、★山下則之（元Jリーグアカデミー・リーダー）、

【懇親会からの参加者】井上俊也（大妻女子大学）

【報告書作成】中塚義実

【概要】

はじめに

2014年度の法人化からすでに7年が経過した。法人化前からサロン2002の「あり方」については何度も、さまざまな形で議論してきたが、4月の例会はサロンファミリー限定の意見交換の場とした。

### 1. 「社心グループ」から月例会「サロン2002」の開催へ

#### 指定発言1. 仲澤眞

1) ルーツ、DNA、ご本尊

（依って立つものが何だったのか。「昔がよかった」の話をするつもりはない）

2) 歴史上の「もし」…発展の途中であったターニングポイント

3) サロン2002への思い…私自身の思い

#### 指定発言者2. 梅澤佳子

私が参加させていただいていたのは、中塚さんがサロンを立ち上げたときの“志”というか内容。何を発信していくのか共感したのが非常に大きい。

### 2. 月例会の見直しと組織としてのあゆみ

Eメールでの情報交換が可能となった時代に、この魅力的なネットワークは全国に“同志”の輪を広げていく。また、ネットワークをフットワークにつなげるマインドを持つメンバーは、「出張サ

ロン」と称して全国の会員のもとに出向いて地元の方々との情報交換会を行うようになった。

### 指定発言者 3. 小島裕範

新潟は開催ベニューに決まったのですがどうも盛り上がらない。そこで Alliance2002 という、これもサロン 2002 から少し名前をいただいたものですが、こういう名のグループを立ち上げ、サッカーの盛り上げ、活性化、市民活動を始めました。いまでもこの組織は NPO 法人として活動しています。そこでいろいろ仕掛けた中の一つが、毎月いろんな方に来てもらって話を伺う「サロン 2002in にいがた」です。サロン 2002 からそのまま名前を拝借しています。毎月月例会をやり、宇都宮徹壱さんに来てもらったりしました。その会の一つが「出張サロン」ということになります。

### 3. 「サロン 2002」を会員制組織に

「サロン 2002」というのは月例会の呼び名であったが、メンバーシップを明確化し、会員制の組織にしようという議論が当時からあった。「来る者は拒まず」だが、氏素性のわからない方と腹を割った話にはできない。会員制組織のあり方については、月例会だけでなく、少人数での話し合いの場も何度か開き、2000 年度から会員制組織「サロン 2002」となった。

### 指定発言者 4. 山下則之

いろんな話がある中でずっと忘れられないのが、中塚先生が「補欠ゼロ」という話をしてくださったことです。僕らの子どもの頃、空き地遊びの中では補欠はいませんでした。よくみると、中学の 3 年間試合に出られなかったとか、出られないのに「いい勉強させていただきました」という保護者がいるなど、「ボール蹴らずに何が楽しいんだろう」と思っていました。「補欠ゼロ」をベースにいろんなことを考えることができました。

### 指定発言者 5. 柳井隆志

僕自身は、先ほどから話にあるように、「補欠ゼロ」を体現している DUO リーグに 3 年間深く関わる高校時代でした。10 年ぐらいたって僕がいた頃は、東京都サッカー協会が作っている上の方のリーグとどうやってつなげるかをやっていた過渡期だったと思います。いまでもよく覚えているのが、DUO リーグを運営する高校の先生方の会議です。そこに高校生の僕はほぼ毎回、3 年間参加させてもらいました。そこで先生方の発言をお聞きしたり、僕自身も発言させてもらったりしたのがいまにつながっているのだと思います。

### 4. サロン 2002 の法人化

従来のネットワークは「スポネットサロン（スポーツ文化ネットワークサロン 2002）」として維持し、そのネットワークを運営する組織を「NPO 法人サロン 2002」として法人化する形になった。

## 《2021 年 5 月 公開サロン（通算 295 回）》

【日 時】2021 年 5 月 13 日（木）19:00~21:10（終了後はオンライン懇親会 ~23:30）

【会 場】オンライン（Zoom）

【テーマ】どうなる、東京オリンピック・パラリンピック？

—2020~21 のスポーツイベントの実施状況から考える

【話題提供】嶋崎雅規（NPO 法人サロン 2002 理事／国際武道大学）

徳田 仁（NPO 法人サロン 2002 理事／榊セリエ）

【参加者（サロンファミリー）16 名】注）★は NPO 会員

浅見明子（サロンメンバー）、★安藤裕一（GMSS ヒューマンラボ/スポハグカフェ/医師）、★梅澤佳子（多摩大学）、★小池靖（会社員/サッカースポーツ少年団指導者）、田島璃子（早稲田大学文化構想学部2年）、★田中俊也（三田市整形外科・富士市）、★茅野英一（NPO サロン監事/元帝京大学教員）、張寿山（明治大学・スフィード世田谷）、徳田仁（株式会社セリエ）、★中塚義実（NPO サロン理事長/筑波大学附属高校）、野村忠明（株式会社島忠・埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員）、本郷由希（会社員）、★本多克己（神戸アスリートタウンクラブ）、守屋佐栄（無職、スフィード世田谷サポーター）、★守屋俊秀（サッカープレーヤー：O-65/レフェリー：東京2級/観戦者：セリエのヘビーユーザー）、吉原尊男

【参加者（サロンファミリー以外）11名】 注）確認が取れた方のみ

相澤修（筑波大付属坂戸高等学校1年）、伊藤美南（筑波大学附属坂戸高等学校1年）、内田脩人（筑波大学附属坂戸高等学校）、大崎拓海（慶應大学総合政策学部1年/慶應サッカー部）、大津太郎（東芝デジタルソリューションズ/IT営業）、片山結恵（筑波大学附属坂戸高校2年）、川島健司（読売新聞東京本社）、近藤史一（筑波技術大学）、高田英駿（中央大学3年）、山田恵子（自由学園女子部中等科・高等科）、來田享子（中京大学、専門：オリンピック史）

【取材】

清水瑤平（NHK スポーツニュース部）

【報告書作成】 嶋崎雅規ほか

【目次】

- I. 2020-21年の世界のスポーツイベントの開催状況（徳田 仁）
- II. 東京五輪の開催に関するさまざまな意見（嶋崎雅規）
  1. 開催に関する世論/海外メディアの反応
  2. 医療体制はどうなるのか
- III. オリンピック・パラリンピック開催の意義（ディスカッション）

【概要（理事長より）】

徳田氏からは、国内外のスポーツイベントがコロナ禍によって延期・中止となった状況が報告されました。中でもTOKYO2020と同時期の2020年6月～7月に予定されていたUEFA EURO2020（サッカー代表チームによる欧州選手権。予選を勝ち抜いた24カ国が、12カ国12会場で開催予定）が1年延期となり、2021年6月11日～7月11日に「有観客で行うというUEFAの方針が発表され、観客を入れて開催できない会場が直近で変更」されたことが紹介されました。「UEFA（ヨーロッパサッカー連盟）は、EURO2020開催に関して、かなり細かい規定を出しています。たとえば、スタジアムの入場可能な観客数も、開催都市によって大きく変えています。その中でロンドンには、最低25%というミニマムの収容人数が示され、これ以上に増やせるという含みを持たせています。これは、イギリス政府が6月末を目安にすべての制限撤廃を目指して段階的に緩和する計画を発表しているため、7月にロンドンのウエンブリー・スタジアムで行われる準決勝・決勝については、さらに収容人数を増やせるように含みを持たせているのでしょう」とのことでした（実際にこの指針に沿って開催された）。

嶋崎氏からは国内外のメディアから伝わるさまざまな意見が紹介されました。医療体制の現状については、医療従事者から、ひっ迫する状況を共有してもらいました。

後半のディスカッションでは、多様な背景を持つ参加者からさまざまな意見が出て、TOKYO2020の意義や見通しについて、メディアからは伝わってこない本質の部分を共有することができました。

なお、この日の公開サロンの模様はNHKスポーツニュース部が取材、翌朝のNHK「おはよう日本」で1分半ほど取り上げられました。

## 《2021年6月 限定サロン（通算296回）》

【日時】2021年6月19日（土）16：20～18：15（終了後はオンライン懇親会 ～21：00）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】NPOサロン総会後の意見交換会ーコロナ後の持続可能なあり方をめぐって

【演者】中塚義実（NPO法人サロン2002理事長／筑波大学附属高校）

【参加者10名】注）★はNPO会員

★石原俊秀、磯和明、★小池靖、★笹原勉、★嶋崎雅規、★関秀忠、★茅野英一、★中塚義実、★本多克己、本郷由希、

【報告書作成】中塚義実

【目次】

- I. 総会報告「持続可能なNPOへ向けての“改革元年”」（中塚義実）
- II. 「サロンファミリーの約束」について（ディスカッション）
- III. 2021年度の事業についてー月例サロンと公開シンポジウムを中心に（ディスカッション）

## 《2021年7月 公開サロン（通算297回）》

【日時】2021年7月16日（金）19：30～21：30（終了後はオンライン懇親会 ～23：00）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】暑熱下でのスポーツ活動2.0

【演者】安松 幹展（立教大学コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科）

【参加者（サロンファミリー）8名】★はNPOサロン会員

★安藤裕一（GMSS ヒューマンラボ/スポーツドクター）、熊谷建志、★小池靖（在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者）、★嶋崎雅規（NPOサロン理事／国際武道大学）、張寿山（明治大学／スフィード世田谷FC）、★中塚義実（NPOサロン理事長／筑波大学附属高校）、★安松幹展（立教大学コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科）、吉原尊男

【参加者（サロンファミリー以外）2名】

渡邊秀幹（プロバドミントンコーチ／アスリート勉強会主催）ほか1名

【報告書作成】安松幹展

【概要】

### 1) 熱中症予防

熱中症には、熱くなった皮膚表面に血液をとられて脳に戻る量が少なくなって失神する「熱失神」、汗をかくことによって電解質のバランスが崩れて筋肉のけいれんが起りやすくなる「熱けいれん」、気持ちが悪くなったり吐き気がしたりする「熱疲労」、より深刻な「熱射病」の4つの段階がある。「熱疲労」と「熱射病」の境が重要で、「熱疲労」でちゃんと休んでおけば早くて3日くらいで通常の練習に戻れるが、「熱射病」になり血液成分にも異常値が見られると、復帰するまでに3か月くらいかかってしまう。

熱中症発生時には、まず呼びかけに答えられなかったら救急車を呼ぶ。救急車が到着するまでも冷やし続けることが必要。呼びかけに応じられたとしても、医療機関へ搬送したほうがよい。また、休息して症状が改善したとしても、その日の練習には絶対に復帰させてはいけない。翌日から2日間ほど様子を見てからトレーニングに参加させる。

熱中症を発生させないようにするためには、熱中症の危険があるような環境でトレーニングをし

ないこと。具体的には、WBGT（暑さ指数）30℃を超えない時間帯にトレーニングを行うこと。

## 2) パフォーマンス低下予防

パフォーマンスの低下を防ぐにはどうするかについて、「暑熱順化」「水分補給」「身体冷却」の3つの観点から解説があった。

「暑熱順化」により、心拍数や暑さへの感覚はだいたい1週間ぐらいで変化するが、発汗量や運動能力は10日くらいたたないと変化しない。アスリートは、2週間程度の暑熱順化期間が必要だと考えられている。

「水分補給」に関してはよく知られている。トレーニングや試合の体重減少率については、体重の2%程度の減少率に抑えることが一つの目安。のどが渇き始めるのもだいたい体重の2%程度の脱水からなので、のどが渇いた時にはもうすでにパフォーマンスが落ちていることになる。だから、「のどが渇く前から飲みましょう」となる。飲料の中身については、真水よりは糖質3g~8g、食塩相当量が0.1g~0.2gというのが推奨されている量である。

最後は「身体冷却」。パフォーマンスに対して冷却は効果があるという実験がある。体温を下げてから運動すると運動の持続時間が延びる、つまりパフォーマンスが上がるというデータがある。逆に、体温を上げてから運動をすると運動時間が少なくなる。これらの運動が持続できなくなった時の体温が、だいたい40.2℃ぐらいとなっている。サッカー界では、試合中の飲水タイムやハーフタイムに冷やす、パークーリングは有効ではないかという研究が行われている。

## 《2021年8月 公開サロン（通算298回）》

【日時】2021年8月23日（月）19:30~21:30（終了後はオンライン懇親会 ~23:30すぎ）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」を語ろう！

【演者】岡島喜久子（公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ 初代チェア）ほか

【コーディネーター】中塚義実（NPO サロン理事長／筑波大学附属高校）

【参加者（サロンファミリー）23名】★はNPOサロン会員

★安藤裕一（GMSS ヒューマンラボ）、江川純子（WEリーグ事務局長）、小幡真一郎、笠野英弘（山梨学院大学）、加納樹里、熊谷建志（FC城東）、★小池靖（在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者）、小松章一、★嶋崎雅規（NPO サロン理事／国際武道大学）、清水諭（筑波大学体育系）、★関秀忠（NPO サロン理事／弁護士）、高平豊明（サッカー文化フォーラム）、田島璃子（NPO サロン事務局／早稲田大学2年）、★田中俊也（三田市整形外科）、★茅野英一（NPO サロン監事／元大学教員）、張寿山（スフィード世田谷／明治大学）、★中塚義実（NPO サロン理事長／筑波大学附属高校）、野村忠明（埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員／会社員）、本郷由希（会社員）、★本多克己（NPO サロン理事／阪神ユナイテッド）、守屋佐栄（スフィード世田谷サポーター／歩くサッカーのプレーヤー）、★守屋俊秀（東京都2級審判）、吉原尊男

【参加者（サロンファミリー以外）21名+20名】

稲嶺碧（筑波大学附属坂戸高校生）、井上秋香（早稲田大学4年／大学スポーツチャンネル/Sports for social）、宇留間範昭（東急）、岡島喜久子（WEリーグチェア）、川崎修（筑波大学附属中学）、菊地美里（ヨガインストラクター）、久保田淳（FC東京）、小寺昇二（横河武蔵野スポーツクラブ／元千葉ロッテ）、小林美由紀（WEリーグ理事）、正松本文宰、杉山さやか（バレンシア CF オフィシャルアカデミージャパン）、鈴木崇正、関佳史（神奈川県サッカー協会副会長）、田中章（元(株)ジャパンスポーツプロモーション役員）、中村年秀（一般会社員／ベレーザ応援）、

平田礼次（フィリピンフットボール連盟ユースダイレクター／JFA 派遣事業派遣指導者）、  
村松邦子（WE リーグ理事）、山内直（浦和レッドダイヤモンズ）、吉田匡廣（株式会社ダイシンコ  
ラボレーション代表取締役）、來田享子（中京大学）、渡邊秀幹（プロバドミントンコーチ／  
BADMINTONFaun 代表）ほか 20 名

【報告書作成】 守屋俊秀 ほか

【目 次】

はじめに（中塚義実）

I. WE LEAGUE for サロン 2002 前半（岡島喜久子）

II. ハーフタイム－質疑応答

III. WE LEAGUE for サロン 2002 後半（岡島喜久子）

IV. アディショナルタイム－質疑応答

【概 要】

WE リーグの WE というのは、WOMAN ENPOWERMENT ということである。WE リーグの開幕は、単に女子サッカーのプロの全国リーグが始まるだけではない。サッカーだけではなくいろいろなスポーツへの働きかけ、女性の地位向上、社会問題の一つとしてのジェンダー平等に取り組む大きなプロジェクトである。

岡島チェアから、WE リーグの理念や、WE リーグの経営について詳しくご説明いただいた。参加者の方々からも、多くの質問や意見が寄せられ、活発で有意義な議論が展開された。

## 《2021 年 9 月 公開サロン（通算 299 回）》

【日 時】 2021 年 9 月 13 日（月）19：30～21：45（終了後はオンライン懇親会 ～23：30）

【会 場】 オンライン（Zoom）

【テーマ】 スポーツにおけるマウスガードの効用

【演 者】 高橋昌嗣（High Bridge Teeth Care 代表／Buddy Dental Clinic 院長）

【コーディネーター】 関秀忠（NPO 法人サロン 2002 理事）

【参加者（サロンファミリー）12 名】 ★は NPO サロン会員

★安藤裕一（GMSS ヒューマンラボ）、春日大樹、★嶋崎雅規（NPO サロン理事／国際武道大学）、

★関秀忠（NPO サロン理事／弁護士）、田島璃子（NPO サロン事務局／早稲田大学 2 年）、

★田中俊也（三日市整形外科）、★茅野英一（NPO サロン監事／元大学教員）、★中塚義実（NPO

サロン理事長／筑波大学附属高校）、野村忠明（埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員／会社

員）、本郷由希（会社員）、守屋佐栄（スフィード世田谷サポーター／あるサカ愛好者）、★守屋俊秀

（世田谷サッカー協会）

【参加者（サロンファミリー以外）5 名】 石堂典秀（中京大学スポーツ科学部）、白石稔（八王子スポ

ー一津整形外科）、高橋昌嗣（High Bridge Teeth Care 代表／Buddy Dental Clinic 院長）、中小路徹

（朝日新聞社）、松枝祐一（メディカルチェックスタジオ大阪梅田クリニック）

【懇親会から参加（2 名）】

★小池靖（在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者）、中宗一郎

【報告書作成】 守屋俊秀

【概 要】

1. コーディネーターより ～ 本日の問題意識

(1) 自己紹介と本日のお話に至る問題意識

- (2) 本日のテーマ設定
- (3) 高橋先生のご紹介
- 2. 高橋昌嗣医師の紹介 ～マウスガード製作実績
- 3. マウスガードを必要とするスポーツ
- 4. マウスガードの「効能」
  - (1) 「パフォーマンスが上がる」というのは本当か？
 

パフォーマンスが上がるというよりも、パフォーマンスを上げる可能性があるというほうが正しい。噛み合わせとか様々な要因で、例えば人間の体のふらつき、重心動揺の大きさが小さくなるということがデータ、論文として出ている。あとは単純に重いものを持ち上げられるということも。では、マウスガードを装着すればなんでもいいのかというとそうではなく、パフォーマンスを上げられる噛み合わせがある。このような噛み合わせをつくとパフォーマンスが上がる可能性が高い。
  - (2) ゴルフでマウスガードを使うと飛距離がアップするか？
  - (3) サッカー選手（豊田陽平選手、遠藤航選手）が語る、マウスガードの効用とは？
  - (4) マウスガードには、脳震盪の予防効果があるのか？
- 5. マウスガードの「使用方法」
  - (1) どこにつけるのか？
 

基本的には上の歯につける。正常咬合の場合、噛み合わせたときに上の歯が下の歯よりも前に出ているので、正面からの衝撃が最初に来る場所は上の前歯。よって通常は上の歯に。
  - (2) 保管方法・手入れの仕方は？
 

使った直後に、水ですすいでこすり洗い。水を切ってケースに入れて持ち帰ることを最低限やってほしい。歯ブラシでなく、麺棒で適宜こすって洗うことも必要。マウスガードの寿命はもって1年ぐらい、基本的には9か月。
- 6. カスタムメイドのマウスガードは、どこが違うのか？
- 7. ビジネスとしてのマウスガード
  - (1) マウスガードは、歯科医のビジネスとして儲かるのか？
 

適当にマウスガードを作っているのであれば儲かる。しかし、しっかり作るとなると儲からないほうに入ると思う。
  - (2) マウスガードは、どのくらいの数作れるのか？
 

型取りから始め、作業時間とすれば6時間ぐらい。しかし、石膏が固まる時間とか、マウスガードを加熱しながら作るのでそれが冷えるまでの時間を考えると、もっと時間がかかっている。
- 8. マウスガードをめぐる法規制

## 《2021年10月 公開サロン（通算300回）》

【日 時】2021年10月22日（金）19：30～21：30（終了後はオンライン懇親会～23：30）

【会 場】オンライン（Zoom）

【テーマと演者】サロンファミリーが感じた TOKYO 2020一月例サロン 300 回記念

- 1) 柔道のサポートチームとして：川戸湧也（仙台大学／全日本柔道連盟科学研究部）
- 2) 水泳競技のボランティアとして：赤城翼（国際武道大学3年・水泳部） ※紹介者：嶋崎雅規
- 3) TOKYO 2020 を振り返って：岸卓巨（(一社)A-GOAL 代表理事／日本アンチ・ドーピング機構職員）

- 4) 無観客開催によるボランティアへの影響：小松章一（行政書士／TOKYO 2020 ボランティア）
- 5) 自転車競技「ロードレース」応援プロジェクト-6 大学連携と多摩大学の活動報告：梅澤佳子(多摩大学)
- 6) オリンピズム再考：小池靖（会社員／在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者）

【参加者（サロンファミリー）16名】 注）★はNPO 会員

★安藤裕一（GMSS ヒューマンラボ／医師）、★梅澤佳子（多摩大学）、川戸湧也（仙台大学）、★岸卓巨（A-GOAL 代表）、小池靖（在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者）、小松章一（行政書士）、★嶋崎雅規（国際武道大学／NPO サロン理事）、鈴木崇正（NEC 勤務、サロン古株です）、★関秀忠（弁護士／NPO サロン理事）、田島璃子（早稲田大学文化構想学部 2 年／NPO サロン事務局）、★茅野英一（NPO サロン監事／元帝京大学教授）、★中塚義実（筑波学附属高校／NPO サロン理事長）、本郷由希（会社員）、守屋佐栄（なでしこリーグスフィア世田谷サポ、歩くサッカーの愛好家）、★守屋俊秀（世田谷サッカー協会／2 級審判）、吉原尊男

【参加者（サロンファミリー以外）9名】 注）確認が取れた方のみ

赤城 翼（国際武道大学水泳部）、内田裕之（自由学園男子部高等科）、各務史織（自由学園女子部高等科 3 年／国際ピエール・ド・クーベルタン YF 日本代表）、川島健司（読売新聞）、真田久（筑波大学特任教授／CORE 事務局長）、土居陽治郎（国際武道大学）、二村綾香（JAPAN サッカーカレッジ学生）、松田龍真（国際武道大学水泳部）、山田恵子（自由学園女子部）

【報告書作成】 守屋俊秀ほか

【概要（理事長より）】

サロン 2002 の「月例会」は 1997 年度よりほぼ毎月行われ、今回が通算 300 回目となります。今年度より「月例サロン」に改め、今回は多くの方にご参加いただく「公開サロン」として開催します。記念すべき通算 300 回のトピックは TOKYO 2020 です。開催前から課題山積だった TOKYO 2020 は、緊急事態宣言の中、原則無観客で開催されました。オリンピックもパラリンピックも終わりたいま、大会そのものを総括し、あとに残していくものを議論していく段階です。それは、誰かにお任せするのではなく、あらゆる人が、さまざまなレベルで行っていくべきでしょう。

「スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”に掲げるサロン 2002 ファミリーは、多種多様な人々のネットワークです。すべての人が新型コロナのパンデミックに向き合い、東京オリンピック、パラリンピックを、それぞれのスタイルで体験しました。今回は、サロンファミリー（とそのまわりの方々）が体験し、感じ、考えた TOKYO 2020 をざっくばらんに語り合う企画です。ボランティアとして関わった方、競技運営に携わった方、大学や高校の指導現場の様子、若い方々の視点…。さまざまな角度から今夏を振り返りたいと思います。

【内容と進行】

#### 1. オープニング（19：30～19：40）

月例サロン 300 回／本日のテーマ設定の背景…中塚義実（NPO サロン理事長／筑波大学附属高校）

#### 2. サロンファミリーが感じた TOKYO 2020

◇前半：競技会のまわりで（19：40～20：30）

- 1) 柔道のサポートチームとして：川戸湧也（仙台大学／全日本柔道連盟科学研究部）
- 2) 水泳競技のボランティアとして：赤城翼（国際武道大学 3 年・水泳部） ※紹介者：嶋崎雅規
- 3) TOKYO 2020 を振り返って：岸卓巨（(一社)A-GOAL 代表理事／日本アンチ・ドレッシング 機構職員）

◇後半：市民の立場から（20：30～21：20）

- 4) 無観客開催によるボランティアへの影響：小松章一（行政書士／TOKYO 2020 ボランティア）
- 5) 自転車競技「ロードレース」応援プロジェクト-6 大学連携と多摩大学の活動報告：梅澤佳子(多摩大学)
- 6) オリンピズム再考：小池靖（会社員／在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者）

#### 3. ざっくばらんな意見交換 ⇒ オンライン懇親会（21：30～）

《2021年11月（通算301回） 公開シンポジウム①》

11月6日（土）にJFA100周年記念事業・公開シンポジウム

「安全・安心なサッカーのために

—『育成年代でのヘディング習得のためのガイドライン』を中心に—を行う

《2021年12月（通算302回） 公開シンポジウム②》

12月11日（土）にJFA100周年記念事業・公開シンポジウム

「JFA100周年 2021年の総括と展望

—TOKYO 2020、WEリーグ、そしてコロナ後へ—を行う

《2022年1月 公開サロン（通算303回）》

【日時】2022年1月26日（水）19：30～21：30（終了後はオンライン懇親会 ～23：30）

【会場】オンライン（Zoom）

【テーマ】試合中におけるレフェリーの安全管理

【演者】小幡真一郎（元・サッカー国際審判員）

谷口弘（日本ラグビー協会 技術部門 レフェリーコーチング普及リーダー）

【コーディネーター】嶋崎雅規（NPO 法人サロン2002 理事／国際武道大学）

【参加者（サロンファミリー）14名】★はNPO会員

★安藤裕一（GMSS ヒューマンラボ／医師）、小幡真一郎（元・サッカー国際審判員）、北原由（高校サッカー指導者）、小池靖（在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者）、小松章一（東京都サッカー協会フットサル運営スタッフ）、★嶋崎雅規（NPO サロン理事／国際武道大学）、★関秀忠

（NPO サロン理事／弁護士）、★高藤順（吉備国際大学）、★茅野英一（NPO サロン監事／元大学教員）、★中塚義実（NPO サロン理事長／筑波大学附属高校）、野村忠明（埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員／会社員）、守屋佐栄（スフィード世田谷サポーター／あるサカ愛好者）、

★守屋俊秀（世田谷サッカー協会／東京都2級審判）、★柳井隆志（Sports for Social／筑波大学附属高校蹴球部OB）

【参加者（サロンファミリー以外）1名】

谷口弘（日本ラグビー協会技術部門レフェリーコーチング普及リーダー）

【報告書作成】佐藤寛（国際武道大学サッカー部3年）

【概要（コーディネーターより）】

今年度、サロン2002では「スポーツと安全」を1つの柱に据え、月例サロン・公開シンポジウムを展開してまいりました。

今回は、「試合中におけるレフェリーの安全管理」というテーマで、サッカーとラグビーのレフェリーの安全管理について取り上げたいと思います。試合中に数多くのコンタクトが発生し、大きなけがの危険性もはらんでいるフットボール。その中で、レフェリーのゲーム・コントロールはプレーヤーの安全性に大きくかかわっています。

そこで、サッカーとラグビーのレフェリー育成に努めてこられたお二方から、

・レフェリーは試合中に、どのようにして安全管理に努めているのか。

・レフェリー育成の際には、どのような安全教育がなされているのか。

この2つの視点からお話を伺い、参加のみなさんとディスカッションしていきたく思います。

#### 【目次】

- I. サッカーにおける安全管理・教育 小幡 真一郎 (元・サッカー国際審判員)
  1. 選手の安全を確保するために
  2. 危険なプレーを見極める
  3. 脳震盪について
- II. 試合中における REF の安全管理 谷口 弘 (日本ラグビー協会 技術部門レフェリーコーチング普及リーダー)
  1. 自己紹介
  2. ラグビーという競技について
  3. マッチオフィシャルのパスウェイ
  4. レフェリーコーチ (CMO) の役割
  5. レフェリーの役割
  6. コミュニケーションについて
  7. ファールプレー
- III. ディスカッション

### 《2022年2月 公開サロン (通算 304回)》

【日時】2022年2月10日(木) 19:30~21:00 (終了後はオンライン懇親会 ~23:00まで)

【会場】オンライン (zoom)

【テーマ】フットサルフェスタ 25年目の挑戦—Africa Challenge とのコラボレーション

【演者】本多克己 (NPO サロン 2002 副理事長/神戸アスリートタウンクラブ理事長)、  
Africa Challenge プロジェクトメンバー

【コーディネーター】岸卓巨 (NPO サロン 2002 理事/一般社団法人 A-GOAL 代表理事)

【参加者 (サロン 2002 ファミリー) 11名】★は NPO 会員

★安藤裕一 (GMSS ヒューマンラボ)、★岸卓巨 (NPO サロン 2002 理事/一般社団法人 A-GOAL 代表理事)、北原由 (高校サッカー指導者)、★小池靖 (在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者)、小松章一 (東京都サッカー協会フットサル運営スタッフ)、★嶋崎雅規 (NPO サロン 2002 理事/国際武道大学)、★茅野英一 (NPO サロン 2002 監事/元大学教員)、★中塚義実 (NPO サロン 2002 理事長/筑波大学附属高校)、野村忠明 (埼玉ソーシャルフットボール協会運営委員/会社員)、★本多克己 (NPO サロン 2002 副理事長/神戸アスリートタウンクラブ理事長)、ほか1名

【参加者 (サロン 2002 ファミリー以外) 20名】

阿部健二 (合同会社 All DaysSports 代表社員/スポーツメンタルコーチ)、雨宮知子 (CHEZA 共同代表)、天羽礼 (筑波大学4年生)、内山貴之 (JICA ウガンダ事務所所長)、大杉治英 (JICA ウガンダ事務所企画調査員)、大場由太 (SOLTILOUGANDA Ltd. 代表)、川崎芳勲 (映像作家/元 JICA 海外協力隊ウガンダ)、榎田一斗 (Uganda Soltilo Bright Stars FC /サッカー選手)、重村のぞみ (特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ事務局)、棚原彩 (Pamoja~スポーツウェアで繋がる Africa~代表)、半井真明 (CHEZA 共同代表)、西村達衛 (神戸アスリートタウンクラブ理事/大学スポーツマネジメント講師)、濱野大志 (A-GOAL/同志社大学4年生)、Friday Mooya (CHEZA)、本田康弘 (Dreamer 株式会社)、松田尚泰 (Great Leap Consulting 株式会社代表)、ほか4名

【報告書作成】 守屋俊秀

【概要（コーディネーターより）】

これまでニッポンハムカップ、ホンダカップと名前を変えながら、ユースカテゴリーを作ったり、女性カテゴリーを作ったりと 25 年間それぞれの時代のニーズや社会状況に応じて実施内容を変化させてきたフットサルフェスタ（民間主催のフットサル大会としては国内最大）。フットサルフェスタについては、サロン 2002 月例会でも何度か取り上げてきました。

「フットサルフェスタ 2021」では、「新たなコミュニティを創出する」をテーマに、Africa Challenge とのコラボレーションを実施。大会会場とアフリカのウガンダ・ケニアを繋ぎ、運動能力測定を通じた交流を行いました。

[https://www.cheza.co.jp/news008/?fbclid=IwAR3TjNPc0IH5vyhl6Dr5tFOSYfH\\_C0SKvIFu\\_zwTIIbTBF-c58NIIK39N\\_4](https://www.cheza.co.jp/news008/?fbclid=IwAR3TjNPc0IH5vyhl6Dr5tFOSYfH_C0SKvIFu_zwTIIbTBF-c58NIIK39N_4)

- ・コロナ禍におけるスポーツ大会の意義とは？
- ・なぜアフリカとの交流なのか？
- ・Africa Challenge を通じて感じられたスポーツのチカラとは？

今回の公開サロンでは、フットサルフェスタ実行委員長の本多克己氏をはじめ、Africa Challenge のプロジェクトメンバーが日本・ウガンダから登壇し、それぞれの視点から「フットサルフェスタ 2021」を振り返ります。

## 《2022 年 3 月 限定サロン（通算 305 回）》

【日 時】 2022 年 3 月 14 日（月） 19 30 21 00（終了後はオンライン懇親会 23 30 まで）

【会 場】 オンライン（zoom）

【テーマ】 サロン 2002 の「これから」を考える ③ 2022 年度以降の持続可能なすがたを求め

【演 者】 中塚義実（NPO サロン 2002 理事長／筑波大学附属高校）ほかすべての参加者

【参加者（サロン 2002 ファミリー） 14 名】 ★ は NPO 会員

磯和明、春日大樹（会社員）、★岸卓巨（NPO サロン 2002 理事／一般社団法人 A-GOAL 代表理事）、熊谷建志（会社員）、★小池靖（在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者）、鈴木崇正（NEC／サッカー書籍と WEB サイトの元編集者）、★関秀忠（NPO サロン 2002 理事／弁護士）、★茅野英一（NPO サロン 2002 監事／元帝京大学）、張寿山（明治大学、スフィード世田谷）、★中塚義実（NPO サロン 2002 理事長／筑波大学附属高校）、本郷由希（会社員）、★本多克己（NPO サロン 2002 副理事長／株式会社シックス）、守屋佐栄（歩くサッカー）、★守屋俊秀（世田谷サッカー協会／東京都 2 級審判）

【参加者（サロン 2002 ファミリー入会予定） 1 名】

天羽礼（筑波大学 4 年生）

【報告書作成】 天羽礼ほか

【概要（理事長より）】

コロナ禍の 2020～2021 年度は、サロン 2002 の今後の方向性を検討するための時間でもありました。総会や理事会はもちろん、プロジェクトチームや限定サロン、そしてそれらのあとのオンライン懇親会で「2022 年度以降の持続可能なすがた」を何度も取り上げ、ざっくばらんに意見交換してきました。

その経過は、リニューアルされたサロン 2002 のホームページ→アーカイブ→月例サロン報告書からみることができます。

- ・2021年6月19日 NPO サロン総会後の意見交換会ーコロナ後の持続可能なあり方をめぐって」  
[https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly\\_report/2021/2021-6.pdf](https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly_report/2021/2021-6.pdf)
- ・2021年4月16日 サロン2002の「これから」を考える②ー理事長からの問題提起  
[https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly\\_report/2021/2021-4.pdf](https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly_report/2021/2021-4.pdf)
- ・2021年2月18日 サロン2002の「これから」を考えるー情報発信プロジェクトからの問題提起  
[https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly\\_report/2021/2021-2.pdf](https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly_report/2021/2021-2.pdf)
- ・2020年6月20日 NPO サロン総会後の意見交換会ー「wtth コロナ」時代の月例会を中心に  
[https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly\\_report/2020/2020-6.pdf](https://www.salon2002.net/src/pdf/monthly_report/2020/2020-6.pdf)

今回は、「サロン2002のこれからを考える」シリーズ第3弾として、以下について理事長が話題提供し、参加者全員で意見交換する場とします。ノンアルコールで90分。そこから先は飲みながら、続きの話をしましょう。

#### 【目次】

はじめに

#### I. 2022年度のサロン2002のすがた (中塚義実)

1. 議論の経過
2. 2022年度のサロン2002のすがた  
〈ディスカッション〉

#### II 持続可能なサロン2002へ向けて

1. 月例サロンの参加費徴収のために
2. 法人カードの導入
3. 2022年度の月例サロンと公開シンポジウム

#### 【キーワード】

- ・サロン2002
- ・NPO法人
- ・法人運営
- ・持続可能性
- ・中塚義実

## 2. 公開シンポジウム

### 《公開シンポジウム 2021-① JFA100 周年記念事業》

#### 安全・安心なサッカーのために

#### —「育成年代でのヘディング習得のためのガイドライン」を中心に—

【日 時】2021年11月6日（土）15：30～18：00（終了後はオンライン懇親会）

【会 場】オンライン（zoom）

- 【演 者】
1. JFA「育成年代でのヘディング習得のためのガイドライン」解説  
中山雅雄（筑波大学／JFA 技術委員会育成部会長・ガイドライン策定に関与）
  2. 海外サッカーのヘディングをめぐるルール・取組みと紛争事例  
石堂典秀（中京大学スポーツ科学部・スポーツ法学者でヘディング分野研究の第一人者）
  3. サッカーボールの国際規格 ～ FIFA との取組み  
梶浦正俊（株式会社モルテン・スポーツ事業本部マーケティング統括部統括部長）  
コーディネーター 関秀忠（NPO サロン 2002 理事／弁護士）

【参加者】29名

公益財団法人日本サッカー協会の後援を得て、JFA100周年記念事業として、2021年4月30日に公表された日本サッカー協会「育成年代でのヘディング習得のためのガイドライン」を取り上げました。このヘディング・ガイドラインは、「子どもの安全を守るために、全ての指導者がこのガイドラインを理解し、指導することが大切である。現時点ではヘディングに関わるリスクについては、その科学的な根拠は十分ではない。今後の医・科学研究の報告を十分にフォローしながら、本ガイドラインは常にアップデートされる。」と述べています。

この公開シンポジウムを通じ、サッカーをする幼児期から15歳に至るまでのすべての子どもたちの親、サッカー指導者、サッカープレイヤーに、ヘディングを取り巻く世界的な状況とリスクを正しくご認識いただき、正しいヘディングを習得し、「ゆたかなくらし」のための課題認識を持っていただく機会となりました。シンポジウムでは、ヘディングに関しては、多くがプロになるわけではない子どもたちの気持ちや彼らの将来をどう考えていくのかという長期的な視点が必要になってくること、ヘディングをできるだけ積み重ねないように配慮すること、ヘディングをしようとする時にそれに伴って頭がぶつかることやヘディングの技術が伴っていないが故に重大な危険が潜んでいること、ただ呑気にヘディングを繰り返し練習させることだけではヘディングの技術の上達にはならないという指導者の感度を高めていくこと、安全かつ魅力のあるフットボールに対してどういったことができるかといったこと等を、引き続き情報発信していく必要性が確認されました。

※ 本シンポジウムの内容については、広報誌『遊 ASOBI』に詳しく掲載されています。

## 《公開シンポジウム 2021-② JFA100 周年記念事業》

### JFA100周年： 2021年の総括と展望

#### — TOKYO 2020、WE リーグ、そしてコロナ後へ —

【日 時】 2021年12月11日（土）15：30～18：10（終了後はオンライン懇親会～21：30）

【会 場】 オンライン（Zoom）

【後 援】 公益財団法人日本サッカー協会

【演 者】 1. 2021の総括と展望—JFA100周年にあたっていま思うこと

賀川 浩（スポーツジャーナリスト）

2. 2021の総括と展望—WE リーグ創設とこれからのサッカー環境

加藤 寛（日本クラブユースサッカー連盟会長／NPO 法人阪神ユナイテッド理事長）

3. 2021の総括と展望—TOKYO2020をめぐる報道を中心に

川島健司（読売新聞社 編集委員兼オリンピック・パラリンピック室）

コーディネーター 中塚義実（NPO 法人サロン 2002 理事長／筑波大学附属高校）

【参加者】 22名

1921年に誕生した公益財団法人日本サッカー協会（JFA）が、2021年9月10日に100周年を迎えた。長い年月の間に浮き沈みはあったものの、世界で最も愛されているスポーツの統括団体は、常に明日を見つめ、日本スポーツ界のリーダーとして歩んできた。

100周年の節目となるこの年、「新型コロナ」は依然として猛威をふるい続け、「東京オリンピック・パラリンピック（TOKYO 2020）」は緊急事態宣言下での開催となった。オリパラ後の9月には、女子プロサッカーの「WE リーグ」が、ジェンダー平等のメッセージを掲げて始まった。コロナ禍とその影響は続くが、少しずつ新たな兆しを見出している。

「スポーツを通しての”ゆたかなくらしづくり”」を「志」に掲げる特定非営利活動法人サロン 2002 は、JFA 科学研究委員会（当時）のサブグループをルーツとし、設立当初から JFA と深いかかわりを持ちながら今に至る。JFA100周年の節目において、本シンポジウムは、1924年に神戸市に生を受けワールドカップ 10 回、ヨーロッパ選手権 5 回、南米選手権 1 回の取材経験を持ち 2015 年に FIFA 会長賞を受賞した 95 歳の現役最年長スポーツライター・賀川浩氏、男女を問わず、ユース年代のサッカー環境構築に尽力した加藤寛氏、TOKYO 2020 の準備段階から本大会・大会後を報道の立場から見つめたジャーナリスト・川島健司氏らを招き、JFA の 100 年を振り返るとともに、2021 年の大きな出来事であった TOKYO2020 と WE リーグを取り上げて検証した。

※ 本シンポジウムの内容については、広報誌『游 ASOBI』に詳しく掲載されています。

### 3. 第6回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

## ご挨拶

#### 第6回大会を終えてーリーグ戦のある“日常”を

全国各地から長野県千曲市に16チームが集まり、第6回大会がtoto助成を受けて無事開催されました。コロナ禍にもかかわらず全国から参加して下さったチームの皆さん、送り出して下さった各クラブ・各リーグ関係者と保護者各位、会場となった千曲市のスポーツ関係各位、大会運営に携わる長野県フットサル連盟とU-18リーグの方々、動画配信スタッフ、そしてすべてをあたたく受け入れて下さった千曲市の皆さん…。ご支援、ご尽力くださったすべての方に心より感謝申し上げます。

過去5回はいずれも異なるリーグから優勝チームが出ましたが、フウガドールすみだファルコンズの優勝で、東京都代表は2連覇となります。2001年度から20年以上にわたってU-18フットサルに取り組んできた東京都の歴史の重みを印象付ける大会となりました。

いま全国16地域でU-18リーグが組織されています。コロナ禍で開催できなかった地域があったのは残念ですが、この大会を機に毎年U-18リーグが創設されるのはうれしい限りです。その一方で、創設されたリーグが、この大会の予選

としか認識されていない危惧もあります。「リーグとは何か」について、機会あるごとに確認しあう必要があると感じています。

リーグは“組織”です。特定の個人や業者に任せて「総当たり戦を行う」ものではありません。ゲームを楽しむ人たちが自身で自分たちの活動をささえる、自主運営と受益者負担が原則です。ささえる活動を楽しむマインドが根底にあります。

リーグ戦は“生活”です。平日のトレーニングと週末のゲームで1週間の「サイクル」を形成し、リーグ期間が「シーズン」となります。ワンデーマッチで「総当たり戦を行う」ことではありません。

リーグ戦は“あそび”です。定期的に、本気で“あそび”仕組みがリーグ戦です。言われたから「総当たり戦を行う」のではありません。やりたいから、やりたい人がやるのです。

以前にも述べたこのようなことを再確認する場を、年内に設ける予定です。

まだまだコロナ禍は続きますが、「リーグ戦のある“日常”を」、皆で作りに上げていきましょう。

特定非営利活動法人サロン2002 理事長 中塚 義実

## U-18フットサルのあゆみ

#### ● JFA 全日本U-18フットサル選手権大会

開催年	優勝チーム	会場
2014年	聖和学園FC(宮城)	大田区総合体育館、墨田区総合体育館
2015年	岡山県作陽高校(岡山)	ゼビオアリーナ仙台、仙台市体育館
2016年	帝京長岡高等学校(新潟)	ゼビオアリーナ仙台、仙台市体育館
2017年	矢板中央高等学校(栃木)	ゼビオアリーナ仙台、カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)
2018年	帝京長岡高等学校(新潟)	ゼビオアリーナ仙台、カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)
2019年	バスカドール町田U-18	浜松アリーナ
2020年	新型コロナウイルス感染の影響で中止。	
2021年	京都共生学園高校	京都市体育館

#### ● グリーンアリーナ神戸カップフットサルフェスティバル

夏休み期間に特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブを主催として開催されるフェスティバル。

開催年	優勝チーム	準優勝チーム
2012年	SAKUYO Coracao de Verde	神戸国際大学附属高校
2013年	名古屋オーシャンズU-18	SAKUYO
2014年	岡山県作陽高校	エンフレンテ熊本
2015年	SAKUYO	名古屋オーシャンズU-18
2016年	フウガドールすみだファルコンズ	サントス サッカー ショップ
2017年	OKAYAMA SAKUYO	フウガドールすみだファルコンズ
2018年	SBFC ロンドリーナU-18	ASV PISCADOLA 町田U-18
2019年	北海道U-18 男子	シュフイカー大阪U-18
2020年	立命館宇治高校 神戸国際大学附属高校	シュフイカー大阪U-18 gatt 2008
2021年	名古屋オーシャンズU-18	シュフイカー大阪U-18

#### ● GAVIC CUP ユースフットサル選抜トーナメント

2012年に「U-18フットサルトーナメント」として創設。2015年からは名称を変更し、全国9地域から選抜された12チームで大会が開催されている。

開催年	優勝チーム	会場
2012年	名古屋オーシャンズU-18(愛知)	オーシャンアリーナ
2013年	瀬戸内高校(広島)	オーシャンアリーナ
2014年	幕張総合高校(千葉)	駒沢体育館
2015年	愛知県選抜U-18	墨田区総合体育館
2016年	U-18 新潟県選抜	墨田区総合体育館
2017年	U-18 新潟県選抜	墨田区総合体育館

#### ● フットサルフェスタ(旧ホンダカップ)

1997年から開催されているフェスティバル大会に2010年からU-18カテゴリーを設定。

関東・東海・関西で予選大会が開催されている。

開催年	優勝チーム	準優勝チーム
2010年	名古屋オーシャンズU-18	さくようフットサル部
2011年	府中アスレティックFCユース	作陽 Gito Soldados
2012年	SAKUYO Nao admitem	武相高校
2013年	クワーク記念国際高校	東京成徳大学高校フットサル同好会
2014年	クワーク記念国際高校	湖南工科大学附属高校
2015年	SEIHTZ A	SAKUYO
2016年	フウガドールすみだファルコンズ	サントス サッカー ショップ
2017年	クワーク記念国際高等学校	フウガドールすみだファルコンズ
2018年	サントス サッカー ショップ	SBFC ロンドリーナU-18
2019年	クワックス	レボナ滋賀U-18
2020年	新型コロナウイルス感染の影響で中止。	
2021年	名古屋オーシャンズU-18	デラソン神戸U-18

# 大会要項

## 1. 名称

第6回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

## 2. 主催

特定非営利活動法人サロン2002

## 3. 主管

長野県フットサル連盟

## 4. 後援

長野県、長野県教育委員会、千曲市、一般社団法人信州千曲観光局、一般社団法人長野県サッカー協会、千曲市サッカー協会、戸倉上山田温泉旅館組合連合会

## 5. 協賛

多摩大学

## 6. 会場

ことぶきアリーナ千曲（長野県）

## 7. 日程

2022年11月8日（土）、9日（日）

## 8. 参加資格

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本サッカー協会」とする。）に加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを含む）。
- (2) 前項のチームに所属する2022年4月2日以降に生まれた選手で男女の性別は問わない。但し、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない。
- (3) 2021年度の選出元のU-18フットサルリーグまたはその代替となる大会に登録・出場している選手であること。

## 9. 参加チーム

参加チームは、次の各号により選出された16チームとする。

- (1) 地域または都道府県のフットサル連盟が主催、主管または後援して開催される2021年度のU-18フットサルリーグの優勝チーム。ただし本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、優勝チーム以外のチームを、単独チーム、選抜チームを問わず、リーグにて選出することを認める。
- (2) 出場チームが16チームに満たない場合は、当該年度のリーグ参加チーム数の多いリーグから順にチームを選出し、16チームでの開催とする。  
(注) ただし、やむを得ない理由により16チーム未満での開催とすることがある。

## 10. 大会形式

16チームによるノックアウト方式で行う。1回戦・準々決勝敗者による交流戦を行う。

## 11. 競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

## 12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチ 35～40m×16～20m
- (2) ボール 試合球：フットサル4号ボール
- (3) 競技者の数 ベンチに着席できる人数は、試合開始前に提出のメンバー提出用紙に記載されている選手14名、役員4名を上限とする。

## (4) 競技者の用具

### ① ユニフォーム

- (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
- (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自身の背番号のついたものを着用すること。
- (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付することとする。必ず、本大会の

参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

- (カ) ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (キ) その他のユニフォームに関する事項については、日本サッカー協会のユニフォーム規程に則る。

- ② 靴：キャンパス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が藍色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。）
- ③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

## (5) 試合時間

30分間（15分の2ピリオド）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間（第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで）とする。

## (6) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

- ① 交流戦は引き分けとする。
- ② PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- ③ 決勝：10分間（5分の2ピリオド）の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

## 13. 懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については当大会規律・フェアプレー委員会が決定する。
- (2) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (3) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

## 14. 参加申込

- (1) 1チームあたり26名（役員6名、選手20名）を上限とし、選手は選出元のリーグに登録していること。
- (2) 申込み締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

## 15. 電子選手証

各チームの登録選手は、日本サッカー協会発行の電子選手証の写し（写真が登録されたもの：フットサル登録選手）、または選手証（写真が貼付されたもの：サッカー登録選手）を、代表者会議および試合会場に持参すること。電子選手証または選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。

## 16. 組み合わせ

主催者において決定する。

## 17. 参加料

1チームあたり40,000円

## 18. 表彰

優勝、準優勝のチームを表彰する。

## 19. 経費

旅費交通費は各チーム負担とする。

## 20. 傷害補償

チームの責において傷害保険（物損対応）に加入すること。

## 21. 負傷対応

競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

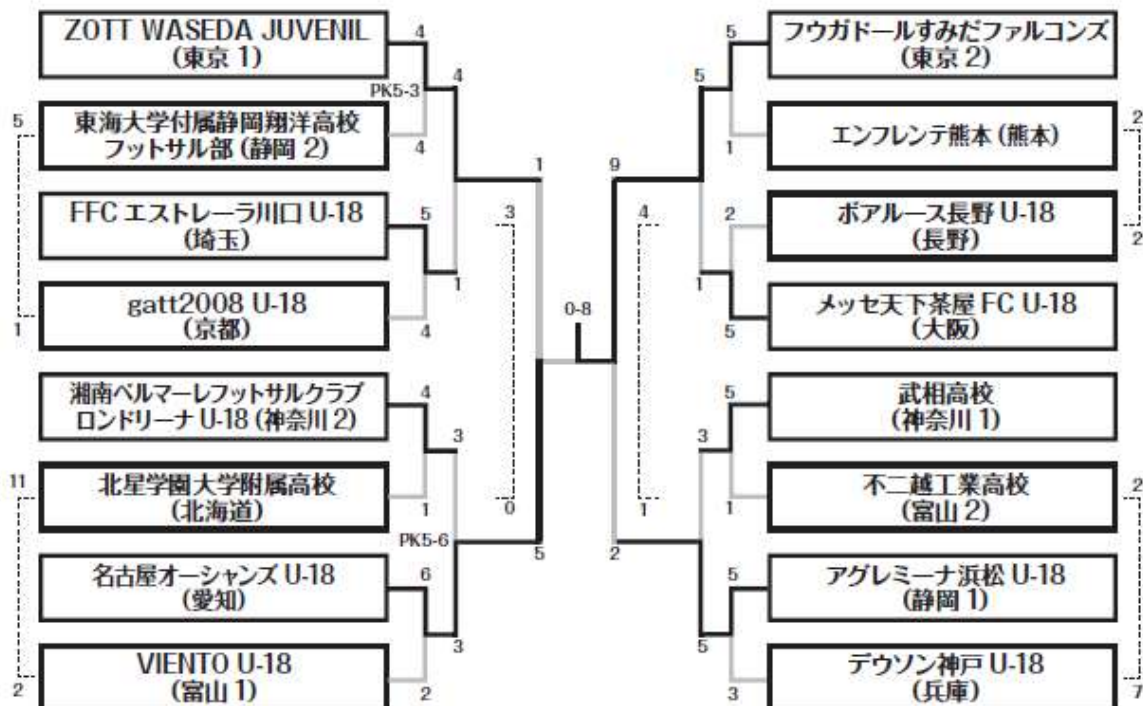
## 22. その他

- (1) 代表者会議はオンラインにて行う。
- (2) 試合開始の60分前、マッチナンバー13,14は40分前にマッチコーディネーションミーティングを行い、ユニフォームを決定する。
- (3) 参加チームと選手は日本サッカー協会の基本規程および付属する規程を厳守しなければならない。
- (4) 大会規定に違反し、その他不正行為等があった場合は、そのチームの出場を停止する。
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで戦ったものとみなす。
- (6) 本実施要項に記載のない事項については、主催者にて決定する。

# 大会結果

## 第6回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

2022年1月8日(土)、9日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



### 得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	伊藤 諄哉	フウガドールすみだファルコンズ	9
2	高柳 治希	アグレミーナ浜松 U18	6
3	中田 斐生	ZOTT WASEDA JUVENIL	3
3	岡本 太一	名古屋オーシャンズ U-18	3
3	関口 啓太	武相高等学校	3
3	大野 頼基	メッセ天下茶屋 FC U-18	3
3	原 佑太郎	デウソン神戸 U18	3
3	帆足 江	フウガドールすみだファルコンズ	3
3	伊集 龍二	名古屋オーシャンズ U-18	3



フウガドールすみだファルコンズ (東京 2)

### 賀川浩貴 (得点王)



### 賀川浩

1924年神戸出身。神戸一中などでプレーした後、サンケイスポーツ編集局長などを経て、現役最年長のスポーツライター、サロン2002正会員。2010年に日本サッカー殿堂入り、2015年にはFIFA会長賞を受賞した。

伊藤 諄哉 選手

## 4. 高校生対象のオリンピック教育プログラム

国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（国際 YF）

日本ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（国内 YF）

国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム（国際 YF）とは、世界中にあるクーベルタンスクール（右図参照）の高校生が2年に一度集まり、座学やスポーツ、アート活動を通してオリビズムを学び、交流を深めあう行事である。開催地は各国持ち回りで、毎回100名余りの高校生が世界中から集まる。日本からは2009年より生徒を派遣、2011年からは筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）が中心となってこの行事に取り組み、2015年からは派遣生徒の選考を兼ねた「クーベルタン-嘉納ユースフォーラム」が、国内の高校生向けのフォーラムとして開かれるようになった。2017年からは中京大学でも「JOAユースセッション」の形で行われ、国内2か所のユースフォーラムから7名の生徒が選考され、派遣されるようになった。

第13回大会は当初、2021年夏にキプロスで開催される予定で、派遣生徒の選考を兼ねた国内 YF は2020年12月末に、筑波大学と中京大学で開催する予定だった。しかし新型コロナ感染拡大の影響で対面での宿泊行事ができる状況にはなく、オンラインでの開催となった。キプロス大会そのものも2022年10月への延期が決まり、選考された7名の生徒は派遣の機会を失った。しかしせつかくのオリンピック開催年である。互いの近況報告と交流を兼ねて、6月8日に勉強会・交流会がオンラインで開かれた。主催は日本ピエール・ド・クーベルタン委員会（CJPC）である（p.2参照）。

2021年12月には、延期されたキプロス大会への派遣生徒の選考を兼ねた国内 YF が、初めて CJPC の主催で開かれた。オンライン開催は2020年12月に続いて2度目である（p.3～5参照）。

### The Map of the International Network of Pierre de Coubertin Schools



### 国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム

- 第1回 1997年 ル・アーブル(フランス)
- 第2回 1999年 マッチ・ウェンロック(イギリス)
- 第3回 2001年 ローザンヌ(スイス)
- 第4回 2003年 アレンツァーノ(イタリア)
- 第5回 2005年 ラートシュタット(オーストリア)
- 第6回 2007年 ターボル(チェコ共和国) ... 日本に紹介
- 第7回 2009年 オリンピア、パリニ(ギリシア)..日本初参加
- 第8回 2011年 北京(中国)..筑附高から2名
- 第9回 2013年 リレハンメル(ノルウェー)..筑附高から2名
- 第10回 2015年 ピエスチャニ(スロバキア)..日本から7名
- 第11回 2017年 ウルヌルメ(エストニア)..日本から7名
- 第12回 2019年 マコン(フランス)..日本から6名
- 第13回 2021年 キプロス → 延期:2022年10月8～15日

## 2021年 国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム

# 参加候補者 勉強会・交流会

日時：2021年6月8日（火） 18：30～20：00 オンライン

主催：日本ピエール・ド・クーベルタン委員会（CJPC）

共催：NPO 法人サロン2002 ほか

参加者：2020年12月に行われた国内 YF で選考された高校生7名

高校教師、CJPC スタッフ、オブザーバー数名

コーディネーター：中塚義実（筑波大学附属高校保健体育科教諭／NPO サロン2002 理事長）

1. オープニング（18：30～18：35）
2. 参加者近況報告（18：35～19：00）

12月の国内 YF 以降、2度の緊急事態宣言あり。いまま宣言が延長される中、学校生活、自分の身の回りはどうなっているのか。授業は？行事は？部活動は？

本日の MTG への期待は？ 各自3分で報告してもらおう。

3. レクチャー（19：00～19：15）

「近代五輪のあゆみー直面してきた諸課題を中心に」 中塚義実

4. tokyo2020 開催をめぐる情報・意見交換（19：15～19：50）

- ・オリパラ開催をめぐる報道から何を感じ、考えたか。自分自身はどう思うか。
- ・自分たちの日々の生活とどのように関連付けるか（例：学校行事をどのようにしていくか）
- ・今後はどう生かしていくか etc.

5. クロージング（～20：00）

<概要（コーディネーターより）>

キプロス大会が延期となり、派遣の機会を失った高校生7人にとって、オリンピック前に設けられた勉強会・交流会は、再会を楽しむ場であるとともに、TOKYO2020の意義を考えるよい機会となりました。

まずはコロナ禍で学校行事や部活動の大会が中止や延期となっている近況を報告しあい、そのうえで今夏の TOKYO2020 開催についての思いを語り合いました。自分たちの日常と照らし合わせての高校生の視点は貴重です。新たな発見もありました。

年末の国内 YF 以降、オリンピズムを広げていくことに目覚めた者がいます。校内でオリンピック・パラリンピックを盛り上げる活動を始めたとのこと。「開催するかどうかについて私たちに決定権はないけれど、オリンピズムを広げていくことなら私たちにもできる」の発言には脱帽しました。高校生の方が政治家やマスコミより、よっぽど素直にものごとをみていると感じました。

高校生からは「このような機会をまた設けてほしい」の要望もありましたが、その機会を設けることができないまま、年末の国内 YF の季節となりました。2022年10月開催予定の第13回国際 YF（キプロス大会）の派遣生徒の選考を兼ねた国内 YF です（p.3～5 参照）。

# 日本ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム 2021

## 【目的】

- 1) オリンピック教育：日本の高校生にオリンピック・ムーブメントやオリンピズムを理解させる
- 2) 選考：第13回国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム（2022年、キプロス）への参加者を選考する<sup>注1)</sup>

【主催】 日本ピエール・ド・クーベルタン委員会（CJPC）<sup>注2)</sup>

【主管】 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）<sup>注3)</sup>、中京大学<sup>注4)</sup>  
特定非営利活動法人サロン2002（NPOサロン）<sup>注5)</sup>

【協力】 特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー（JOA）<sup>注6)</sup>  
東京都高等学校体育連盟研究部<sup>注7)</sup>  
東海学園大学

【期日】 2021年12月25日（土）、26日（日） ※両日とも9：00～17：00

【会場】 オンライン（Zoomを利用）

【参加者】 高校生26名

筑波大学附属高校（3名）、筑波大学附属坂戸高校（2名）、自由学園男子部・女子部（4名）、  
国士館高校（2名）、中京大学附属中京高校（13名）、名古屋大学教育学部附属高校（2名）  
計26名（男4名、女22名）

## 【プログラムとスケジュール】

### ◆12月25日（土）

- 9：00～10：00 オープニング／オリエンテーション（含学校紹介）【中塚義実・田原淳子】  
10：10～11：00 講義① クーベルタンの思想と行動からオリンピズムを考えよう【和田浩一】  
11：10～12：00 講義② 嘉納治五郎に学ぶ多様性と調和【真田久】  
13：00～14：50 講義③ 国際スポーツ大会におけるおもてなしの心【江上いずみ】  
15：00～17：00 演習① 中京大学スポーツミュージアム【伊東佳那子、來田享子】

### ◆12月26日（日）

- 9：00～10：20 演習② オリンピックと持続可能な社会【宮崎明世】  
10：30～11：00 特別講演 オーストラリアからみた東京2020大会【Helen Brownlee】  
11：10～12：30 演習③ 英語での討議【嶋崎雅規】  
13：30～15：00 演習④ まとめと発表  
15：20～15：50 オンラインエクササイズ【山田恵子】  
16：00～16：45 クロージング  
17：00 解散

### ◆12月27日（月）

課題レポート提出<sup>注10)</sup>

【参加費】 無料

【申し込み・問い合わせ窓口】 事務局：日本ピエール・ド・クーベルタン委員会

## < 注 一 覧 >

- 注1) 2年に一度、各国持ち回りで近代オリンピックの創始者の名を冠した「国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム（国際YF）」が開催されている。主催はCIPC（国際ピエール・ド・クーベルタン委員会）。世界中から100名以上の高校生が集い、座学や討議、スポーツ交流やアート活動を通してオリンピズムを学ぶ場である。日本からは2009年に生徒2名がオブザーバーとして参加。2015年からは7名のフルメンバーの参加となり、選考を兼ねた「国内YF」がCOREや中京大学、NPOサロンやJOA（日本オリンピック・アカデミー）主催で開かれてきた。2021年にキプロスで予定されていた国際YFは1年延期となり、2022年10月に開催見込み。日本からの派遣生徒は本YFで選考される。
- 注2) CIPCの日本支部として2019年8月に発足。今年度より国内YFの主催となり、本事業の名称も「日本ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム」となった。
- 注3) 嘉納治五郎生誕150年の2010年に発足した筑波大学の学内組織で、日本初のOSC（Olympic Study Center）としてIOC（国際オリンピック委員会）から認定を受ける。11校ある附属学校を活かしながら「オリパラ教育」事業に先駆的に取り組み、スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業」をリードする。
- 注4) 中京大学では毎年「JOAユースセッション」の名称で、中高生向けの国内YFが開催されてきた。2020年度に続き今年度もオンライン開催となったため、中京大学と筑波大学で連携して取り組むこととなった。
- 注5) スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”に掲げるNPO法人。その前身は1980年代のサッカー関係者の研究会にあり、1997年からサロン2002の名称で活動。月例会は今年10月で通算300回となる。2014年にNPO法人化。「オリパラ教育」事業やU-18フットサル事業などに関わる。
- 注6) ギリシャに本部を持つ国際オリンピック・アカデミー（IOA）を頂点とする世界の148（2019年現在）の国や地域にある国内アカデミーの一つ。1978年に設立し2005年にNPO法人化。現在のJOAの中長期目標は「オリンピズムの普及と浸透」で多くの事業に取り組む。
- 注7) 東京都高体連加盟専門部の一つ。都内の高校運動部についての研究を推進するとともに、毎年「東京都高体連研究大会」を主催、部活動のあり方を意見交換する場となっている。2019年12月に都内で開催された「クーベルタン-嘉納ユースフォーラム2019」を主催、「オリパラ教育」への取り組みを開始した。
- 注8) 講師はヘレン・ブラウンリー（Helen Brownlee）氏（CIPC理事、オーストラリアオリンピック委員会副会長）。
- 注9) 特別講演を受けて、「東京2020大会を振り返る」グループ討議を英語で行い、グループごとの成果を日本語で発表する予定。
- 注10) 課題レポートを提出するところまでが本フォーラムの内容。派遣生徒の選考は、各活動への取り組みとともに課題レポートを評価資料とする。

## < 概要（コーディネーターより） >

これまでの国内YFは、首都圏では筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）、東海地区では中京大学やJOAが主催してきましたが、今回初めて日本ピエール・ド・クーベルタン委員会（CJPC）が主催となりました。TOKYO2020以降のオリンピック教育の担い手として、CIPCの日本支部であるCJPCが前面に出てくる形となったのです。特定非営利活動法人サロン2002はCOREや中京大学とともに主管として関与し、理事長の中塚が全体のコーディネーターを務めました。

今回も対面でなく、オンラインでの開催となりました。できることは限られていますが、昨年度の

経験を生かし、運営側も参加生徒もよりスムーズに、抵抗感なく参加できたと思います。グループ活動では画面上にホワイトボードを出して議論を進めるなど、高校生のオンラインスキルの高さが感じられました。

今回は、世界とつながることができたのも大きな成果です。CIPC（国際ピエール・ド・クーベルタン委員会）副会長でもある田原淳子氏（国士舘大学／CJPC事務局長）から事前に、世界中のCIPC関係者にこのフォーラムの案内が為され、興味を持たれた方々がスイス、アメリカ、ドイツなどから参加されました。オンライン開催のメリットと言えるでしょう。日本の国内YFなので日本語で進められましたが、雰囲気をつかむことはできたようです。新たな可能性を世界に発信できました。

2日目にはオーストラリアからヘレン・ブラウンリー氏が登壇し、スライドを用いて約30分の講演をされました。逐語訳がついたことで日本の高校生の理解も深まりました。講演後の質疑には、海外からの参加者だけでなく日本の高校生数名からも質問があり、世界に開かれた国内YFとしての第一歩を踏み出すことができました。



「英語での討議」のテーマは、「50年後の高校生にTOKYO2020大会をどう伝えるか」です。いまの高校生にとって、1964年の東京五輪はおよそ50年前のできごとです。50年後の高校生にとって、TOKYO2020はどのようなものとして捉えられるのでしょうか。それはいまの人たちがTOKYO2020をどう評価し、伝えていくかに関わりません。「あなたたちは今夏のTOKYO2020を、50年後の高校生にどのように伝えますか？」との問いかけは、議論のきっかけとしてわかりやすいものでした。

この時間は日本語で話すことも書くことも禁止です。自分の考えを持ち、言語化し、英語で伝えようことに加え、オンラインでやり取りするハードルもあります。沈黙の時間が流れることもあったようですが、何とか意思疎通を試みていました。討議の内容はグループごとに日本語で発表します。グループ討議の「まとめと発表」では、「あのときはこういうことを言いたかった…」ということが互いに披露され、お互いを理解しあう時間にもなりました。

2日目最後のプログラムは昨年同様、オンラインエクササイズです。2019年のマコン（フランス）大会引率教諭である山田恵子氏（自由学園女子部）のリードで、デンマーク体操の要素を加味した体操が紹介され、個人やペア、グループでいい汗をかきました。おじさんたちも参加しました。

12月27日までにすべての参加者から課題レポートが提出され、はじめてCJPCが主催した年明けに選考会議が開かれ、7名の高校生が選考されました。文責：中塚義美



## 5. A-GOAL プロジェクトとの連携

A-GOAL プロジェクトは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により生活に困窮したアフリカの人々に現地の地域スポーツクラブを「ハブ」に食料や衛生用品などの緊急支援を行うために、2020年5月16日に活動を開始したプロジェクトです。これまでにケニア・ナイジェリア・マラウイ・ウガンダの4カ国で10,000人以上に支援を届けてきました。「スポーツでアフリカと日本を繋ぎ、持続可能な社会を目指す」を理念に2021年5月に法人化。現在は、アフリカ9カ国で、スポーツイベントの開催、日本との交流事業の実施、現地スポーツクラブによるスモールビジネスのサポート、女性支援など活動の幅が広がっています。サロン2002では、プロジェクトの立ち上げ当初からメーリングリストで支援を呼びかけたり、イベントを共催するなど連携してきました。

2021年度に連携して実施した事業としては下記の通りです。

### (1) フットサルフェスタ 2021 (神戸) でのアフリカチャレンジ実施

2021年12月18日・19日、神戸で行われたフットサルの全国大会「フットサルフェスタ 2021」のサイドイベントとして、運動能力テストを通じたアフリカ交流プログラム「アフリカチャレンジ」を開催し、サロン2002では当日の運営メンバーとしての参加などで協力しました。

この企画は、参加者が大会会場で運動能力テストを行い、アフリカのアスリートの記録に挑戦するというものです。貧困や紛争といった暗いイメージも強いアフリカに対して、一緒にスポーツを競うことにより明るさや楽しさといったリアルなアフリカのイメージを持ってもらいたいという思いから、A-GOALとCHEZA（教育とスポーツを軸にアフリカと日本を繋いでいる団体）が共同開発したプログラムです。



「フットサルフェスタ 2021」の会場では、大会出場アスリート（子ども～大人）、指導者、保護者など100名以上が、握力・ジャンプ力・柔軟性など合計5種目の運動能力を測定し、その記録をアフリカのアスリートの記録と競い合いました。また、大会当日にケニア・ウガンダの子どもたちとZoomで中継を繋ぎ、3カ国でリアルタイムで競い合う時間も設けた。

一般的に「運動能力が高い」というイメージが強いアフリカのアスリートであるが、本当にそうなのか？会場では、アフリカのアスリートや他の参加者の記録を更新して喜ぶ姿や、画面越しにアフリカの子どもたちと簡単な挨拶を交わし、お互いにワイワイと盛り上がる様子が見られた。実際に身体を動かしながら交流することで、「アフリカは支援の対象ではなく、挑戦する相手だ」というアフリカチャレンジのコンセプトが参加者に伝わったかと思えます。



## 6. 事務局報告

### 1. 2021 年度 NPO 法人サロン 2002 会員・ファミリー人数

- ① NPO 法人サロン 2002 会員数 29 名
- ② サロン 2002 ファミリー人数 95 名 (NPO 会員含む)

### 2. 2021 年度役員・事務局

- ① 理事長 中塚義実
- ② 副理事長 本多克己
- ③ 理事 浅見明子、岸卓巨、齊藤宣彰、嶋崎雅規、関秀忠、徳田仁
- ④ 監事 茅野英一、(補欠監事：松下徹)
- ⑤ 事務局 田島璃子

### 3. 事業内容

	事業内容
通年	サロン 2002 ファミリーの募集、ホームページ・メーリングリストの運営、会員名簿の管理
4 月	4 月限定サロン「サロン 2002 の「これから」を考える②ー理事長からの問題提起」
5 月	5 月公開サロン「どうなる、東京オリンピック・パラリンピック？ ー 2020-2021 のスポーツイベントの実施状況から考える」
6 月	2020 年度サロン 2002 総会・意見交換会
7 月	7 月公開サロン「暑熱下でのスポーツ活動 2.0」
8 月	8 月公開サロン「日本初の女子プロサッカーリーグ<WE リーグ>を語ろう！」
9 月	9 月公開サロン「スポーツにおけるマウスガードの効用」
10 月	10 月公開サロン「サロンファミリーが感じた TOKYO2020 一月例サロン 300 回記念」
11 月	公開シンポジウム「安全・安心なサッカーのために ー<育成年代でのヘディング習得のためのガイドライン>を中心に」
12 月	公開シンポジウム「JFA100 周年記念事業-2021 年の総括と展望 ーTOKYO 2020、WE リーグ、そしてコロナ後へ」 「日本ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム」主管 ホームページのリニューアル
1 月	「第 6 回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ」主催 1 月公開サロン「試合中におけるレフリーの安全管理」
2 月	2 月公開サロン「フットサルフェスタ 25 年目の挑戦 ーAfrica Challenge とのコラボレーション」
3 月	3 月限定サロン「サロン 2002 の「これから」を考える③ ー2022 年度以降の持続可能なすがたを求めて」 広報誌「游 ASOBI 第 4 号」の発行

注) 公開サロン：参加対象を広く一般に公開

限定サロン：参加対象をサロン 2002 ファミリーに限定

以上